

リスクマネジメント(2. 1. 4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集/抽出/報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求/損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定/回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定/回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約/提携関係にある会社(者)への差止請求/損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)/助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の初歩的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の基本的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)担当当事者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2.1.4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) A.係争対応

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社特許(著作物)を調査し、有力な無効(証拠)資料の収集／抽出／報告を行った。
2. 他社(他者)からの差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
3. 外国企業から警告(訴訟提起を含む)を受けて、自社製品(サービス)と権利の対応関係について、判定／回答を行い、解決に導いた。
4. 自社と契約／提携関係にある会社(者)への差止請求／損害賠償請求を前提とする警告(仮処分も含む)の支援(例:証拠提供、証人出廷)／助言等を行い、解決に導いた。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:当該製品の年間売上のうち権利対象部分に相当する一定額(例:3%)を低減させた。自社側の主張を認めさせた。相手特許の無効を相手方に認めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 係争対応関連業務に必要な法律・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 係争対応に関する実務(例:侵害判定、権利および権利者の存在確認、設計変更の検討、無効審判、ADR)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の特許的意義を理解し、特許権者の主張を覆すためのロジックを組み立て、あるいは被疑侵害者に対する侵害論拠の主張をすることができる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

係争対応関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:相手方の主張の技術的意義を理解し、その主張を覆すためのロジックを組み立て、自社製品の技術に関する主張をすることができる)。

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:交渉の相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集/企画/方針作成/評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した他社権利監視の実施/評価/報告書の作成を成功裡に行った。
4. Patent クリアランスに関する情報収集/企画/方針作成/評価を成功裡に行った。
5. Patent クリアランスに関する現状分析/改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野の Patent マップを利用した Patent クリアランスの実施/評価/報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準, 他社権利監視のための各種データベース, IPC, Fターム, FI等の専門用語)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、Patent マップ技術)の初歩的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. patentクリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. patentクリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用したpatentクリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準, 他社権利監視のための各種データベース, IPC, Fターム, FI等の専門用語)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、patentマップ技術)の基本的な事項を理解している。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. patentクリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. patentクリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用したpatentクリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、patentマップに基づいて特許戦略が策定された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、patentマップ技術)の専門的な事項を理解することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. patentクリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. patentクリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用したpatentクリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、patentマップに基づいて特許戦略が策定された)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例:特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例:新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術、patentマップ技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) B.他社権利監視

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 他社権利監視に関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
2. 他社権利監視に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用した他社権利監視の実施／評価／報告書の作成を成功裡に行った。
4. patentクリアランスに関する情報収集／企画／方針作成／評価を成功裡に行った。
5. patentクリアランスに関する現状分析／改善を成功裡に行った。
6. 自社製品に属する技術分野のpatentマップを利用したpatentクリアランスの実施／評価／報告書作成を成功裡に行った。
7. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 製品に搭載された新技術／改良技術についてSDIIによる監視設定を行い、検討すべき競合他社の特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、競合他社の製品の定期的なウォッチングにより、自社製品に無い新技術／改良技術にあたる当該他社特許／公開発明を発見し、それを機に開発部門が設計した、権利監視の結果が情報提供／無効資料調査等の行動のきっかけとなった、patentマップに基づいて特許戦略が策定された)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 他社権利監視業務に必要な法律(例: 特許法における新規性・進歩性に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 他社権利監視に関する実務(例: 新規性・進歩性に関する審査基準、他社権利監視のための各種データベース、IPC、Fターム、FI等の専門用語)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

他社権利監視関連業務に必要な技術(例: 自社製品及び関連する他社製品の技術、patentマップ技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例: 英語)の情報を正しくかつ迅速に理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明(例: 技術の説明)を正しく理解することができる。
3. 関係者と連携し、協働できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析/情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析/無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析/交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の初歩的な事項を理解している(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の基本的な事項を理解している(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 主力製品／重要な特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 担当事業分野全体の規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しく(例:80%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) C.他社権利排除

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 事業戦略・研究開発戦略・知的財産戦略に沿って、他社権利の排除を行うための有力な証拠資料の収集(例:ファイルヒストリー中の矛盾の発見、弁理士の鑑定書入手)を適切に行った。
2. 前記証拠資料に基づいて、情報提供を行うことの利害得失の分析／情報提供を成功裡に行った。
3. 前記証拠資料に基づいて、無効審判を行うことの利害得失の分析／無効審判請求を成功裡に行った。
4. 前記証拠資料に基づいて、交渉(例:無償の実施権の取得)を行うことの利害得失の分析／交渉(例:無償の実施権の取得)を成功裡に行った。
5. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:自社の主張を認めさせた。自社製品の非侵害を特許権者に納得させた。特許の無効を相手側に認めさせた。特許権の技術範囲を縮小させて自社製品から外れるようにした。)[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 全社的規模で行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 他社権利排除業務に必要な法律(例:産業財産権法における情報提供、無効審判請求に関する規定)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 他社権利排除に関する実務(例:鑑定、先使用権、無償の実施権の取得、無効理由の確保)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

他社権利排除関連業務に必要な技術(例:自社製品及び関連する他社製品の技術)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社特許の技術的意義を理解し、その特許性を覆すためのロジックを組み立てることができる)。

⑤語学

対象案件が外国特許の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:発明者)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明者)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム, 屋号を含む)管理に関する情報収集/企画/方針作成/運用/評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ, ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法, 独占禁止法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念, 既存ブランドとそのプロセス, ブランド評価手法, 現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識), ブランド適正表示)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ, 実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解し、外国語において自己の意思を最低限の範囲で(例:50%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解し、外国語において自己の意思を概ね(例:60～70%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

リスクマネジメント(2. 1. 4) D.ブランド保全

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 企業戦略(ブランド戦略)・販売戦略に沿って、ブランド(ドメインネーム、屋号を含む)管理に関する情報収集／企画／方針作成／運用／評価を成功裡に行った。
2. ブランド管理に関する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. ブランド戦略に基づき管理を具体化するための仕組み構築を成功裡に行った。
4. ブランド戦略に沿って、自社ブランドの利用(例:カタログ、ホームページ等)に際して、適正な表示を担保させた。
5. ブランド戦略に沿って、社外における自社ブランドの不適正な使用(例:普通名称としての使用)に対して注意を発した。
6. 上記について、適切なアウトソースを選定し、活用して実行した。
7. ブランドに関するトラブルについて、関係者と調整し、解決に導いた。

③重要性

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:交渉によってブランドの不適正使用を止めさせた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層／株主に参照されるに至った。
3. 事業に大きな影響を与えるブランドの不適正使用に対処した。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. ブランド保全業務に必要な国内外の法律(例:商標法、独占禁止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. ブランド保全に関する実務(例:ブランド概念、既存ブランドとそのプロセス、ブランド評価手法、現地のスラングや風習慣習(絶対に使ってはいけない言葉や態度の知識)、ブランド適正表示)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

対象案件が外国の場合において、外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解し、外国語において自己の意思を正しくかつ流暢に(例:90%程度)伝達することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:社内外)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:現地代理人)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる。
5. 関係者(例:相手方)を納得させることができる。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。